

鍼灸・鍼灸師

世界の鍼灸

鍼灸は伝統医療として、また統合医療として欧米(フランス・ドイツ・イギリス・アメリカなど)やアジア(中国・韓国・台湾・ベトナムなど)で活用されており、医師や鍼灸師が鍼灸治療を行っています。



国によっては「鍼科」として病院等の診療科の一つになっています。



日本の鍼灸

日本の鍼灸の歴史は古く、701年制定の「大宝律令」の中で医療制度を定めた「医疾令」には、医師と並び鍼師が医療の担い手として記されています。日本鍼灸は、欧米・アジア諸国の鍼灸とは異なった日本独自のものとして発展してきました。現在は、医師または国家資格を取得したはり師・きゅう師が鍼灸を行っています。



はり師、きゅう師は国家資格です。



公益社団法人
日本鍼灸師会

鍼灸・鍼灸師の活動

スポーツと鍼灸

各地のマラソン大会や市民スポーツ大会、オリンピック・パラリンピックなどの国際大会などでスポーツ愛好家からプロ・アスリートのコンディショニングやアフター・ケアに鍼灸師は活躍しています。



プロ・アスリートのトレーナーは鍼灸師が多く、アスリートの治療を行っています。



災害時の鍼灸

国際医療技術財団(JIMTEF)などで災害医療研修を受け、災害支援鍼灸師として、災害派遣医療チーム(DMAT)やその他の医療職種災害派遣チームと連携しながら被災地で活躍しています。



災害発生時には、災害支援鍼灸師として登録された各都道府県の会員が被災地に派遣されます。



鍼灸・鍼灸師の活動

「予防」から「キュア・ケア」まで

※QOL (Quality of Life)

自分らしい生活を送り、人生に楽しみや喜びを見出しているかということを尺度としてとらえる概念で「生活の質」と訳されています。

鍼灸は、疾病予防や介護予防、疾病への治療的介入や健康増進、ADLの維持・向上に有効です。

鍼灸師は、外来鍼灸（鍼灸院）や在宅鍼灸（訪問）などで利用者の心身機能の改善と、また利用者の活動や社会参加を促すことによって生活の質（QOL）を高めることを目指しています。



医療・介護専門職と 鍼灸師

はり師・きゅう師は、地域包括ケアシステムの中で「積極的な関与が期待される専門職」として明記されています。

※ADL (Activities of Daily Living)

食事・排泄・移動・整容・入浴など日常生活を送る上で最低限必要な基本的行動。



公益社団法人 日本鍼灸師会
Japan Acupuncture & Moxibustion Association